

日本被団協のノーベル平和賞受賞にあたって会長談話を発表

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：土屋敏夫）は、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞にあたり、以下の通り談話を発表いたしましたのでお知らせします。

《談話》

私たち生活協同組合は、日本被団協のノーベル平和賞の受賞に、心からお祝いを申し上げます。

被爆者の皆様の、筆舌に尽くしがたい被爆体験を継承する活動、日本国内また国連や世界各地での地道な活動にあらためて心からの敬意を表します。

生活協同組合は、「平和とよりよき生活のために」をスローガンに掲げ、戦争も核兵器もない世界を目指し、様々な活動に取り組んできました。中でも日本被団協とは、NPT再検討会議など国際会議への代表派遣や国連での原爆展の開催、ヒバクシャ国際署名など、市民社会からの声を国際社会の届けるための様々な活動において協働してまいりました。

この度の日本被団協のノーベル平和賞受賞は私たちにとっても嬉しい出来事であるとともに、被爆者の皆様と私たちが掲げてきた願いに対し、今日の国際社会の危機的な状況であることを強く感じるものでもあります。

あらためて世界の指導者に対し、核兵器廃絶と世界各地での戦闘行為や紛争状態に対し、即刻の停戦を強く呼び掛けます。



2015年のNPT再検討会議で一緒に行進する
日本被団協と日本生協連の合同派遣団



2022年のNPT再検討会議で日本被団協と日
本生協連の合同派遣団

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03-5778-8106